

初めての冬の羊蹄山

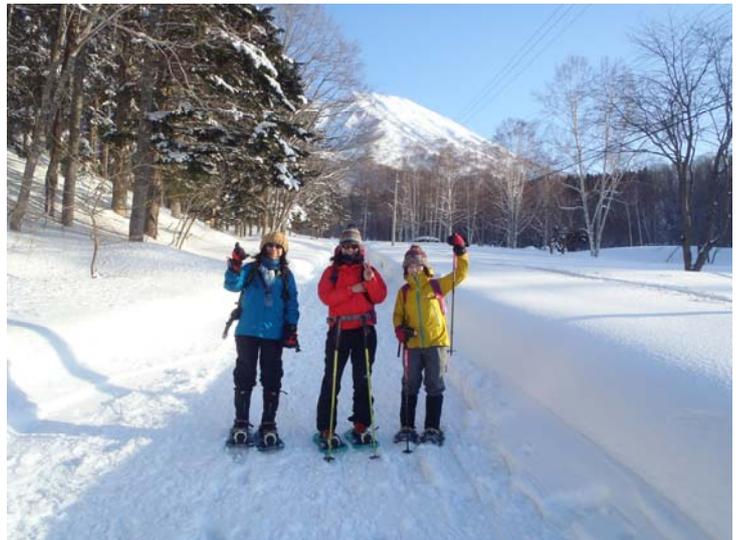
☆-----みどりさんの九州転勤で、送別の羊蹄山スノーシュー登山-----☆

目的の山域・山名	羊蹄山(1,898m)
山行日	平成 28 年 3 月 5 日(土)
ルート(コース)	真狩コース
メンバー	L 藤木、みどりさん、直子さん、雄子さん 以上 4 名
山行スタイル	スノーシュー(リーダーは山スキー)
コースタイム	7:40 登山口 8:00 南コブ分岐 9:50 1,000m 台地 11:40 Cont1,360m(本日の最高到達点・昼食) 12:30 下山 14:30 登山口

無謀にもスノーシューで羊蹄山

こんなに条件のいい羊蹄山に登る機会は一生に一度だったかもしれない、位の登山日和。今年の登山運を使い切ってしまったのでは、というくらい絶好コンディション。

7:07 真狩登山口駐車場を出発。車道の突き当りに羊蹄山登山口の看板あり、7:24 登りはじめる。頂上まですっきり見通せる。林の中は傾斜もきつなく、スイスイ進む。半そでシャツでぐいぐい登る外人さんについて行ったり、犬?の毛皮を腰に巻いたおじさんもいた。まだまだいけるね、とスノーシュー組は斜面をほぼ直登、ジグをきって登る理事長さんとの距離がちよっと開き、女子トーク炸裂。



11:39 標高 1360m まで登りタイムアップ。ここからの眺めは、胆振、後志、渡島半島がずらっと見えて圧巻。

さすが蝦夷富士、北海道の南西部分を見下ろして気分最高。昼ごはん中ヘリコプター飛来、何度もぐるぐる回っていて遭難救助かと思ったが遊覧飛行だった模様。青い空にオレンジと白の機体が映える。

下りは恐怖。尻滑りでスピード出て木にあたって止まる。雪が硬くてグリップが利かず、急斜面でスノーシュー脱いでアイゼン装着し恐る恐るトラバースする。そんな緊張の場面でも女子トークは続く。内容はひみつ。

下りは淡々と降りる直ちゃん、まったくペース崩れず。

写真撮ったりメールしたりとうとう最後までツボ足で降り切ったみどりさん。スノーシューに雪がくっついて団子に

なり苦戦の上靴擦れした太田。滑る時間より待ってる時間が長かった理事長さん。3人組をさぞやひやひやして待っていたことでしょう。寿命が縮んだのでは？途中登ってきた外人連れのガイドさんにスノーシューで上り下りですか？と珍しがられる。やはり無謀であったか。怖いもの知らずの3人ならではの暴挙であった。眺めてよし、登って良しの羊蹄山だったが、下りはやっぱりきつかった。その後2日間お約束の筋肉痛に悩まされた。でもまた必ず行くぞ〜。次はスキーで？



(記 雄子)

大パノラ景色に大感動

午前5時、待ち合わせ場所の伊達道の駅。気温氷点下10度。空は満天の星空。その時から今日は間違いなく晴れると確信できた。羊蹄までの道のりの途中、洞爺湖で美しい朝日を拝む。午前7時過ぎ真狩口到着。既に駐車場は満車。スノーボーダーの団体と同時刻に出発し、抜きつ抜かれつの攻防戦。しだいに気温も上がり途中体温調整。半袖Tシャツの外国人もいる。徐々に高度を上げ振り向けば見渡す限りの美しい山々や町の景色。コースはさすがに羊蹄、ほとんどが急登でひーひー。



下山も考慮し11時半タイムアップ&お楽しみの快晴の中でのランチタイム♪こんなにはっきりと遠くまで丸見



えでいいのかと言うくらいの大パノラマの景色に大感動！帰りも我ら3姉妹はスノーシューで地道に下山。振り返れば午後の空は青さが一層増し羊蹄山の白とのコントラストがそれはそれは美しかった。理事長のスキーも素晴らしかった。たくさん笑って感動して、ちょっと怖い目にも会って全てが忘れられない良き思い出となりました。今回も最高の山行でした。皆様ありがとうございました！

(記 直子)